

鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴

— 日本近代化の躍動を体感できるまち —

近代国家として西欧列強に渡り合うため、海防力を備えることが急務だった明治期の日本は、軍港としてふさわしい地勢条件を満たす天然の良港を4ヶ所選び、軍港を築き海軍鎮守府を開庁しました。鎮守府とは軍港に置かれた海軍の本拠地のことで、島国日本の周辺海域を横須賀、呉、佐世保、舞鶴の4つの鎮守府が分割して管轄し、海の防衛体制を確立するためのものでした。

それまで半農半漁の静かな寒村だった四市は、最新の技術と巨額の予算が集中的に投入され、海軍諸機関とともに鉄道、水道などのインフラが整備された近代的な軍港都市に生まれ変わりました。

時を経た現代、躍動した往時の姿を残す旧軍港四市は、いずれもどこか懐かしくもたくましい、人々をひきつけてやまない魅力に満ちた“まち”として、今なお特有の文化・景観を守り続けています。

舞鶴



先端技術や都市基盤の整備ばかりでなく海軍由来の食文化を広く普及させた。カレーや肉じゃがは、脚気予防のための洋食を日本人向けに改良したものである。

横須賀



横須賀製鉄所にはじまる工業技術、近代的な造船技術は、それらを教える学び舎「養舎」の開校とともに、同舎で学んだ技術者により日本各地さらに民間に伝えられた。

佐世保

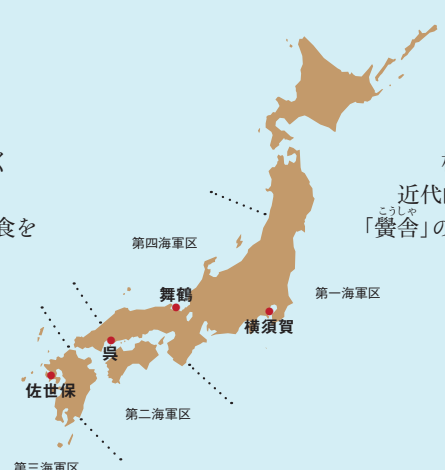


れんが造に代わる最新の技術として鉄筋コンクリート造が佐世保からはじまった。また、針尾送信所は他に類を見ない日本最大の通信塔として技術力の高さを物語った。

呉



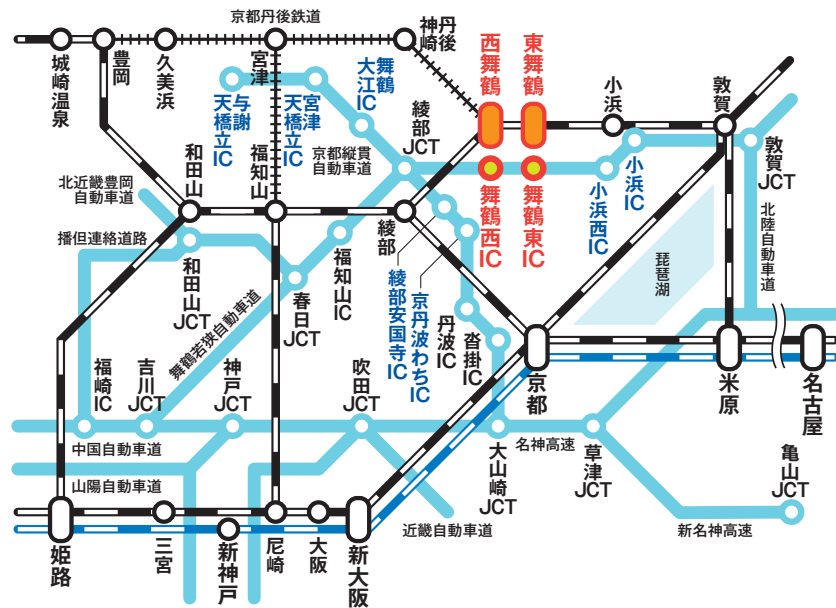
艦艇への給水や工業用水として必須な近代的水道施設を開庁後いち早く開設し、さらに東洋一の規模を誇る水道施設「本庄水源地堰堤」を完成させた。



「日本遺産 (Japan Heritage)」とは — 我が国の文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図るため、その歴史的経緯や風土に根ざした伝承、風習などを踏まえたストーリーとその構成文化財を文化庁が認定する制度です。

ACCESS

- 車**
- 京都から 京都縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道で約100km
 - 大阪から 中国自動車道、舞鶴若狭自動車道で約130km
国道176号、173号、27号で約115km(池田、瑞穂経由)
 - 名古屋から 名神高速、北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道で約190km
- 鉄道**
- 京都から 山陰本線、舞鶴線で約1時間40分(特急)
 - 大阪から 京都経由で約2時間20分
 - 敦賀から 小浜線で約2時間
- 高速バス**
- 京都から 直通で約2時間
 - 大阪(梅田)から 直通で約2時間10分
 - 大阪(なんば)から 直通で約2時間10分
 - 神戸(三宮)から 直通で約2時間
 - 東京(品川)から 直通で約9時間30分
- フェリー**
- 小樽行 週6便 所要時間約20時間 毎日 午前0時30分発



まいづる観光ネット
MAIZURU-KANKO.NET

http://www.maizuru-kanko.net

- 舞鶴の観光についてのお問い合わせは
まいづる観光ステーション 舞鶴市観光商業課
●赤れんがパークの観光案内・土産品は
舞鶴赤れんがパーク(2号棟)
- でんわ 0773・75・8600 〒624-0816 舞鶴市宇伊佐津213-8
でんわ 0773・66・1024 〒625-8555 舞鶴市宇北吸1044
でんわ 0773・66・1096 〒625-0080 舞鶴市宇北吸1039-2

舞鶴 日本遺産 構成文化財マップ

「鎮守府横須賀・呉・佐世保・舞鶴」——日本近代化の躍動を体感できるまち——

製作 舞鶴市(一社)舞鶴観光協会

祝 日本遺産認定!